

## 『安全な利用者介助～ベッド編～』アンケート集計

参加者26名中21名返答

### ①どの事業所に属していますか。

介護老人福祉施設	4名
介護老人保健施設	1名
訪問介護事業所	4名
ディサービス・デイケアセンター	1名
グループホーム	1名
介護療養型医療施設	0名
障害者支援施設	4名
病院	0名
小規模多機能型居宅介護	2名
福祉系学校	0名
その他(特定施設・ケアハウス)	4名
定期巡回随時対応訪問介護・看護)	
合計	21名

### ②職種を教えてください。

介護職員	13名
介護支援専門員	3名
生活相談員	0名
ホームヘルパー	2名
看護師	0名
福祉系学校の学生	0名
その他	3名
(生活支援員・相談支援専門員)	
回答なし	1名
合計	22名

### ③本日の研修はいかがでしたか。

大変良かった	18名
良かった	3名
期待したほどではなかった	0名
合計	21名

### 《感想》

- ・自分が力任せに介助していたことが利用者にとってどれだけ負担になり苦痛を与えてがよくわかりました。自分の腰痛予防の為に、教えていただいた事を習慣になるまで意識して練習していきたいと思います。
- ・介助を受けることにより手荒い介助の怖さを実感する事が出来ました。信頼関係の大切さも理解したように思います。先生の言われる「物ではない」という言葉を胸に、これからの支援に習った実技を生かしていきたいと考えています。
- ・エビデンスにない身に付いた習慣は恐ろしい。
- ・介護を行う上での基本的な事はもちろんですが、安全な人にやさしい移乗方法など教え頂き実務に生かして行きたいと思いました。利用者に快適な介護に務めていきたいです。
- ・スライディングボードの活用をもっと出来る様に、スライディングシートの使用をもっと広められたらと思います。
- ・今まで経験したことない実技体験をさせていただき、とても身になりました。職員に持ち帰り、連携をはかって統一していければと思います。
- ・普段、腰に負担をかけているか感じた。利用者の立場になり不快な介助を受けているか色々考えさせられた。

- ・腰痛を防ぐ身体の動きの基本を学びました。今まで、身に付いてしまっている事が多く、ひとつひとつの動作の前に確認を要しました。
- ・普段の癖がよくわかりました。
- ・介護の現場を離れ、安楽な介護をすっかり忘れてしまうことになりつつ、今回の研修で学びを得る事ができたことを嬉しく思っています。ありがとうございました。
- ・マルチシートやスライディングボードは多く恵まれた環境ですが、スタッフの技術が乏しく、手間を惜しみ、上手く使用できていません。組織による人員配置の再編、作業環境の支援に習った実技を生かしていきたいと考えています。見直しを取り組み、腰痛予防に努めていこうと思います。
- ・何時も力任せの介護をやっていたかが身にしみました。腰痛持ちなので、特に気を付けて明日から仕事で生かします。
- ・実際に体験してみて利用者差の気持ち少しわかり、自分の仕事時の姿勢についても考えさせられました。意識して業務に生かしたいと思います。ありがとうございました。
- ・介助する側の姿勢等、明日からでもすぐに活かせる事は実行して介助する側、介助される側共に安全な介助を行っていきたいと思います。
- ・ボディメカニクスに対する考え方が変わった。時間内に終わってください。
- ・今までのやり方を考える為には「意識」して行わなければならないとつくづく思いました。
- ・意義深く、楽しく受講させて頂きました。アシスタントの方も事細かな指導も頂き、グループメンバーを変更させて頂き、さまざまな角度での指導で本当に良い講習会でした。早速に皆に普及していきたいと思っております。
- ・一つ一つの介助方法をゆっくりと時間をかけ学ぶ事ができました。ペースも私には良かった。
- ・ベットの高さや腰を曲げない事は心がけていたが、今回「手」がすぐに我流になってしまった。意識して気をつけていこうと思います。
- ・普段腰に負担のかかる介助をしていた事が分って良かった。今後、実践し、利用者の安全に配慮した介助を行っていきたい。

④ 今後受けてみたい研修内容、研修講師などありましたら、ご記入下さい。

- ・古武術介護
- ・実技研修
- ・ユマミチュード
- ・アンガ-マネージメント
- ・利用者の転倒予防について
- ・また来年も上田先生の講義受けたいです
- ・本日の上田先生の研修は又、受講したいと思いました
- ・知的障害者の入所施設で働いているが、支援とは何か、職員の中で自立支援って？  
どれくらいの認識、そういう人の為の研修